

在宅看護学各論

[講義] 第2学年～第3学年 後期 選択 1単位

《担当者名》 竹生 礼子 (看護福祉学部 take-r@hoku-iryu-u.ac.jp) 川添 恵理子 (看護福祉学部)
増田 悠佑 (看護福祉学部) 中安 隆志 (看護福祉学部) 巻 康弘 (看護福祉学部)
朝日 まどか (リハビリテーション科学部)

【概要】

在宅で生活する療養者とその家族の多様なニーズと支援のあり方を学ぶ。

【学修目標】

1. 在宅療養者の多様なニーズに沿った援助を理解するために、対象者の健康と生活の理解のポイントを学ぶ。
2. 在宅療養者のニーズに合わせた継続看護と多職種連携の方法を学ぶ。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

竹生礼子 (看護師・保健師・訪問看護師・介護支援専門員)

川添恵理子 (看護師・保健師・訪問看護師・退院支援看護師・地域看護専門看護師・介護支援専門員)

増田悠佑 (訪問看護師・病棟看護師・外来看護師)

中安隆志 (看護師・訪問看護師・精神看護専門看護師)

巻康弘 (社会福祉士、認定社会福祉士(医療分野)、認定医療社会福祉士、介護支援専門員)

朝日まどか (作業療法士)

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関・訪問看護事業所等の実務経験で身につけた知識・技術・援助姿勢をいかし、実践で活用できるよう講義・演習を行う。